

令和4年度 林業普及週間現地情報 (12/5～12/9)

森林管理課

第3回八重山林業研究会の開催

12月8, 9日(木, 金)

令和4年12月8、9日(木、金)、第3回八重山林業研究会として沖縄本島における木材利用の現状、早生樹(ウラジロエノキ)育苗の視察を行った。

八重山林業研究会とは、石垣市、竹富町、与那国町の森林・林業・緑化担当、八重山森林組合、佐藤林業、有限会社うえざと木工、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 西表熱帯林育種技術園及び沖縄県八重山農林水産振興センターの職員を会員とし、八重山地域の森林・林業・緑化の推進に寄与することを目的とし設立された研究会である。

今回は、石垣市、竹富町、与那国町、うえざと木工及び西表熱帯林育種技術園の職員が参加した。

初日は、企業組合キンモクの視察及び県産木材の需給状況の説明、沖縄県森林資源研究センターにおける木材乾燥試験及び早生樹の育苗に関する説明、スモール農園ひがし企業組合の菌床しいたけ生産施設の視察、2日目は、おきなわ工芸の杜で開催されているウッドフェアの視察を行った。

参加者から質問及び活発な意見交換も行え、有意義な林業研究会となった。

石垣島内には、収穫期に達したリュウキュウマツ造林地が多数あり、更新していく必要がある。今後、収穫伐採を進める上で、八重山地域のみならず、県内外を視野に木材利用を、また再造林をする際の選択枝の一つとして早生樹造林の普及を図っていく。



キンモク企業組合視察



森林資源研究センター木材乾燥試験



森林資源研究センター早生樹試験



スモール農園ひがし視察

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城)